

伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 木曾岬村藤里の海岸堤の破堤箇所を東方向堤外地から望む

エリア： 三重県

撮影箇所： 木曾岬村

撮影日： 1959年

撮影者： 旧建設省

資料提供者： 木曾川下流河川事務所

状況： ー

現地状況、コメント等

伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものとしてされている。

踏査時の調査表には以下のように整理されている。

<10月16日 災害状況調査表>

●堤防の様子／前面状況：竹・ヨシ、嵩上げ堤か：不明、旧堤部はどうか：破堤、法線方向：西北西、道路を兼用しているか：兼用、土質：砂

●溢流しているか／その時刻：≒20時～20時30分、溢流深(波立)：≒1.5m以上

●波の来た方向：南～南南西、しぶきがこしたか：こした、その高さ：≒2.5m以上

●木の傾いている方向：北～北北西、何度位(地面に対し)：50°～60°、樹種：シュロ

●木の倒れている方向：北、根入深さ：1.5m、木の太さ：≒0.3m、樹種：マツ

●木が折れていたか：いる、折れた所(地面から)≒5m、木の太さ：≒0.4m、樹種：マツ

●電柱が傾いている方向：北北西、何度位：50°、電線がついているか：ついている

●草がねていたか／その方向：北北東、場所：表法下、大きさ：≒1.0m

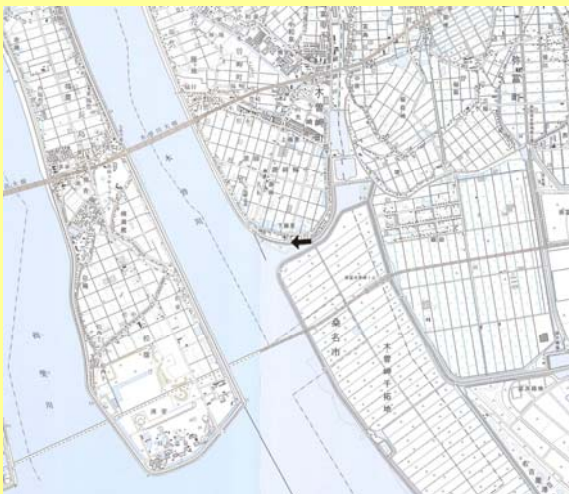
●灌木は残っているか／残っている、大きさ：1～2.0m

●堤内地の家の壊れ方／壁、屋根、柱：流失

●よし根土の破壊状況／特につぎ目：不明、厚さ：不明

●聞き込み事項(参考事項)：溢流し始めると同時に破堤する。

撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用